

市民負担軽減・行政サービス充実よりも 国宝の刀剣購入 優先してはならない

80 案件中 “一般会計予算案” など 8 議案に反対

国宝の購入含む予算などを決め 3月定例市議会が閉会

上越市議会3月定例議会は24日、一般会計予算など80の議案や諮問などを採決して閉会しました。このうち、一般会計予算には、国宝の刀剣の購入予算が含まれています。日本共産党は、国宝を買うことを、行政サービスの充実や市民負担の軽減よりも優先してはならないとして、市民生活を守る立場で反対したほか、市民のためにならない7議案に反対しました。

最終日の本会議では、平良木議員が議員団を代表して反対の討論を行いました。一般会計予算

今回の予算は、いくつもの箱物の建設予算が計上されていることに加え、高額な国宝を購入するという予算です。

市民にとって、年々収入は減る一方、負担は増える一方という中、必要なのは国宝を買うことではなく負担を軽くすること、暮らし、福祉や医療、介護、教育などのサービスを充実させることです。

地域経済の活性化に資する住宅リフォーム助成事業の継続や子育て世代の負担軽減を図る保育料の5%引き下げは、積極策です。

一方、国の悪政から市民の暮らしを守るべき基礎自治体の責務を考えると、看過できない問題が山積しています。

まず、3億2千万円というきわめて高額な国宝の刀剣の購入事業は問題です。

この刀剣にはそれなりの価値もあり、また毎年一定の文化予算を計上することも重要な施策の一つです。

どで市民の暮らしをあたため、だれもが安心して暮らせる町にすることが、今求められている最大の行政課題です。

学校給食調理業務の民間委託は合計39校にまで増加しました。学校給食は食育教育の重要な一環であり、安心安全な給食提供の点からも市の直営とし、民間委託はすべきではありません。

商店リニューアル助成事業が前年度比1500万円も減額されていることも問題です。この制度は、周知が不十分だったこと、補助対象項目にないまいさがあつたこと等が指摘されていますが、利用者にはたいへん喜ばれています。少なくとも同額を計上して周知などに改善を図るべきです。

そのほか、高田公園内の大規模複合施設を、市民合意のないまま建設してきましたが、その管理運営でも、観桜会の際には駐車場が使えないため、施設が実質的に使えない状態であることが明らかになっています。

国民健康保険

特別会計予算

保険税の軽減範囲の拡充という積極面は評価しますが、その一方で高額療養費の算定基準額を引き上げ、市民負担をますます増加させることは認められません。また、保険税自体、所得税や市民税に倍する課税であり、世帯の家計を直撃する高負担になつていくことが、決定的な問題です。一般会計からの繰り入れ

を含めて、負担軽減を図るべきです。

後期高齢者医療

特別会計予算

国保会計と同様の問題に加え、保険料の軽減措置が大規模に削減されています。

介護保険特別会計予算

依然として県内20市最高の保険料を市民に課し、同時に給付の段階でもさらに重い負担を強いていることに加え、給付自体も必ずしも十分ではありません。さらに、新総合事業のために、利用者にとってはサービス内容の低下、事業者にとっては介護報酬の削減と、双方にとってたいへんな問題が生じています。

一般会計補正予算・個人情報保護条例の一部改正

マイナンバー関連の議案です。マイナンバー制度は、すべての国民に生涯変わらない番号をつけ、行政などが散在する個人情報を活用しようとする制度です。プライバシー権の侵害の危険性が大きい議案です。

公告式条例の一部改正

市の公告等の内容をホームページに掲載することを契機に、これまで16か所あつた掲示場を1か所に集約するというものです。ホームページへの掲載は賛成ですが、掲示場の集約は、地域自治区を設け、総合事務所を置いている当市にあっては、すべきではありません。

市税条例の一部改正

安倍内閣は、消費税率引き上げを再延期する税制改正関連法を昨年成立させました。消費税増税が、長期にわたる個人消費の落ち込みを引き起こし、安倍政権が2度の増税先送りに追い込まれたことは重大です。私たちは大企業、富裕層、タックスヘイブンといわれる租税回避地の三つの、税逃れ、をただすことで、社会保障・子育て支援、若者支援などを拡充する財源をつくることこそ大事だと思っています。

今回の条例改正は、この法の成立を受けてのもので、消費税増税は先送りではなく、中止をすることこそが求められています。私たちは、こうした先送りを前提にした措置には賛成できません。以上、反対理由の主な論点を明らかにして、反対討論といたします。

4月5日の一般新聞に、市政報告が折り込まれます。ご覧ください。



しかし、市民生活が厳しくなつていく中で、これだけ高額な支出を、市民負担の軽減や行政サービスの充実よりも優先してはなりません。まず、各種の利用料や保険料の引き下げ、助成制度の拡充な

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 540 2017年4月2日

連絡先 橋爪 正幸 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 公悦 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 平良 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良 哲也 090-1808-6919 (上中田)